



《テーブル、食器》1984年 油彩

ベルナール・ビュフェ美術館 開館50周年

“ビュフェ・スタイル” とは何か？

唯一無二のそのスタイルを、たっぷりお楽しみください。🍴

2023年4月1日（土）－11月7日（火）

ベルナール・ビュフェ美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57 TEL. 055-986-1300 FAX. 055-987-5511 www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/
開館時間：10:00－17:00（4-10月）/10:00－16:30（11月）入館は閉館の30分前まで 休館日：水・木曜日（ただし2023年5月3・4日は開館）

HIGHLIGHTS

新館展示室

“ビュフェ・スタイル”とは何か？

黒い線、暗い色使い、細長い人物、まるで人のいない風景—
一度見たら忘れられない唯一無二のスタイル。

初期から晩期までの豊富な作品群で、ビュフェの画家人生を追いながら、
その「スタイル」をたっぷり味わい、その背景に迫ります。

第二次世界大戦後のフランスにすい星のごとく現れた青年画家。灰色と栗色の画面、黒く鋭い輪郭線、画面を埋め尽くすひっかき傷のような線、顔に深い皺をきざみ、引きのばされやせ細った人物、不思議な配置の静物、人っ子ひとりいない町…虚無感に満ちた時代の空気を切り取り描いた彼の絵は、一度見たら忘れられない独特の輝きを放っていました。20歳を前にして確立されたそのスタイルは、ベルナール・ビュフェという画家を唯一無二の存在に押し上げることであります。その後ビュフェは50年にわたって制作を続け、その線や色彩を変化させ、描く対象を広げていきますが、何をどう描こうと「ビュフェ・スタイル」は貫かれていました。

若くして時代の寵児となり、画家であることの幸せと苦しみを常にあわせもちながら20世紀を駆け抜けたビュフェ。この展覧会では、初期から晩年までの作品約100点を通してその変遷をたどるとともに、そこに貫かれた「ビュフェ・スタイル」を見つめます。様々なテーマと表現に挑んだベルナール・ビュフェの芸術、そしてその人生と人物像を、たっぷりとお楽しみください。



ベルナール・ビュフェ (Bernard Buffet, 1928-1999) はフランス・パリ出身の具象画家。19歳の若さで批評家賞を受賞し、パリ画壇に衝撃的にデビューする。黒い輪郭線と抑制された色使いで、第二次世界大戦後の不安や虚無感を描きだしたと支持され、一躍ビュフェ現象を巻き起こした。その独自の表現は、没後20年を過ぎた今、あらためて注目を集めている。

IMAGES

【広報用画像資料】

広報用にお使いいただける画像をご用意しています。

お申込み、お問い合わせについては次ページをご覧ください。

クレジット表記は各画像下の内容をご利用ください。(原題表記が必要ななどの場合お問い合わせください)



1 《テーブル、食器》1984年 油彩



2 《肘をつく男》1947年 油彩



3 《瓶のある静物》1949年 油彩



4
《ニューヨーク：ダウンタウン ブロードウェイ》
1958年 油彩



5 《サーカス：パレード》1955年 油彩

【広報用画像資料申し込み用紙】

前ページ掲載の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しています。

ご希望の場合は□にチェック ☒ を入れ、必要事項をご記入の上、FAXにて055-987-5511まで、
あるいは必要事項と画像の番号をE-mailにてinfo@buffetmuseum.or.jpまでお申し込みください。

お願い ・クレジット表記は前ページ画像下の情報をご利用ください。

・掲載誌一部をご送付ください／掲載サイトのURLをお知らせ下さい。

・取材にご来館くださる場合は事前に担当者までご一報ください。

貴媒体名

掲載号

発売・公開日等

年

月

日

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail

ご住所

☐ 1 《テーブル、食器》1984年 油彩

☐ 2 《肘をつく男》1947年 油彩

☐ 3 《瓶のある静物》1949年 油彩

☐ 4 《ニューヨーク：ダウンタウンブロードウェイ》
1958年 油彩

☐ 5 《サーカス：パレード》1955年 油彩

FAX : 055-987-5511 / E-mail : info@buffetmuseum.or.jp

【お問い合わせ】

展覧会担当：杉崎（すぎざき）

雨宮（あまみや）

井島（いしま）

ベルナール・ビュフェ美術館

静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL 055-986-1300

info@buffetmuseum.or.jp

GENERAL INFORMATION



所在地 〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511

入館料 大人：1000円（1200円）高・大学生：500円（600円）中学生以下：無料

（ ）内は別館で企画展を開催中の料金となります。この料金で当展と企画展の両方をご覧ください。※20名以上の団体は100円引き

休館日 水曜日・木曜日（ただし2023年5月3・4・5日は開館します）

開館時間 10:00-17:00（※11月からは16:30閉館となります）入館は閉館の30分前まで

アクセス 自動車の場合 新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. →伊豆縦貫道（東駿河湾環状道路）→長泉 I.C. 出口 R246を右折／「城山」交差点左折／静岡がんセンター方面へ（新東名長泉沼津 I.C. より約5km）

電車の場合 JR東海道線〔三島駅〕下車
南口より富士急シティバス駿河平線（運行本数に限りがあります。詳細はウェブサイトをご覧ください）

<https://www.clematis-no-oka.co.jp/buffet-museum/>

同時開催

2023年4月8日（土）－7月2日（日）



多くのすぐれた絵本画家を輩出したスイス。

その絵本は日本でも出版され、今もなお愛され続けています。

スイスを代表する3人の絵本画家、クライドルフ、フィッシャー、ホフマンの世界を紹介する企画展です。

スイスという国の美しい風土と歴史、そして世界共通の、親が子どもを愛する気持ちから生まれた絵本の魅力、ぜひお楽しみください。

主催：ベルナール・ピュフェ美術館 協力：小さな絵本美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館

後援：静岡県教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、裾野市教育委員会、沼津市教育委員会、三島市・三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送

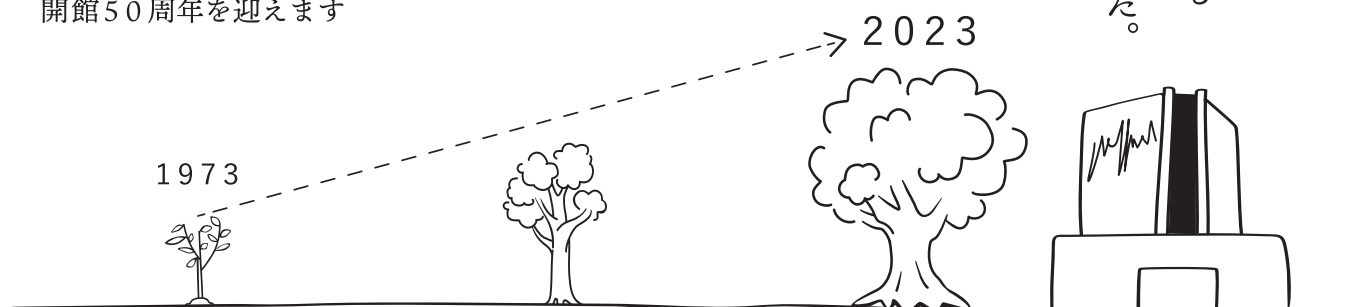
ベルナール・ビュフェ美術館開館 50 周年



2023 年

ベルナール・ビュフェ美術館は
開館 50 周年を迎えます

開館の年に
植えたクスノキも
大きく育ちました。



「一人の天才の才能を通じ、この大地に文化の花咲くことをのぞむ」

1973 年(昭和 48 年) 11 月 25 日、ベルナール・ビュフェ美術館の開会式で創設者が述べたことばです。それから 50 年、所蔵作品数は 2000 点を超え、ベルナール・ビュフェ美術館は、大きく成長してきました。

創設者がベルナール・ビュフェの作品と出会ったのは、日本が戦後の荒廃から復興しようとしている時代でした。「虚無感と無気力さの中に一筋の光芒を与えてくれた」と後に記すほど大きな衝撃を感じ、精力的に蒐集をかさねていったのです。そして 1973 年、自分の故郷に近い丘陵地帯に美術館を創設しました。創設者は、フランスにビュフェを訪ねては親交をかさねて理解を深め、ふたりは固い友情で結ばれるようになりました。ビュフェは当美術館を 7 回訪れ、日本の文化と美術館周辺の自然を楽しみ、「我が子(作品)に会いに行く」「ここは(生涯を通じ愛した南仏)プロヴァンスに似ている」と言い、当館を大切な場所として愛しました。時代が移り、見る人の世代が変わっても、ベルナール・ビュフェの作品は変わらずここにあり、いつも新しい衝撃を与えてくれます。50 年目のベルナール・ビュフェ美術館、ビュフェの作品をあらためて、さまざまに楽しむ年にいたします。どうぞよろしくお願いいたします。